



2025年度

全日本アマチュアゴルフ選手権

西日本地区予選

開催日：4月19日（土）

開催コース：京阪ゴルフ倶楽部

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルール、競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルール、競技の条件の違反の罰は、「一般の罰(2 罰打)」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ (規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、次のものを含む。

- (a) 現にプレーするホールにおいて、球が白杭を結んだ線を越えて、他のホールのインバウンズに止まっても、その球はアウトオブバウンズとする。
- (b) 河川側アスファルト道路外の球はアウトオブバウンズとする。

2. ペナルティーエリア (規則 17)

No. 4 及び 5 ホールにあるペナルティーエリアに球がある場合、規則 17.1 の救済の選択肢に加え、追加の選択肢として 1 打の罰のもとに球を特設箇所（ドロップゾーン）にドロップすることができる。ドロップゾーンは救済エリアであり、球はその救済エリアにドロップされ、その救済エリアに止まらなければならない。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）(規則 16)

(a) 修理地

- (1) 青杭で囲まれた区域。
- (2) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
- (3) 白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

看板類、距離標示、排水口とその蓋、ボール止めネット、人工芝(スルーザグリーン)、散水栓及びその付属品、障害物で囲われた花壇、コース内のすべての U 字溝及び川側のブロック及びアスファルトの通路は「動かさない障害物」とする。

尚、No. 12 グリーン上の散水栓上にパターラインがかかれば無罰で等距離にボールをプレースすることができる。

4. クラブと球の規格

- (a) ストロークを行うために使うドライバー R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
- (b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。
- (c) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き 46 インチの長さを超えるクラブを使ってはならない。
このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

5. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋳を有するスパイク（メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない）。このローカルルールの違反に対する罰：規則 4.3 参照

6. プレーの中断 (規則 5.7)

本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 練習（規則 5.2）

終了したばかりのパッティンググリーン上やその近くで練習することを禁止するローカルルールひな型 I-2 を適用し、規則 5-5b は次の通り修正される：

「2つのホール間のプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。」

8. 移動

本競技は、セルフプレーとし、プレーヤーは正規のラウンド中、いかなるの移動用の機器にも乗ってはならない。（ただし、委員会が承認する場合や、事後承認した場合を除く）。プレーヤーは違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。2つのホール間の違反は次のホールに適用される。

9. キャディー

正規のラウンド中、競技者のキャディー使用は禁止とする。このローカルルールの違反の罰：プレーヤーはキャディーに支援してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホール間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められている参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

3. タイの決定

正規のラウンドが終了して予選通過者にタイが生じた場合は、「マッチング・スコアカード方式」により通過者を決定する。

4. 競技の結果ー競技の終了

競技の結果は最終成績表が競技会場の公式掲示板に掲載されたときに最終となる。

5. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、「競技規定」に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

距離表

【A グリーン】※距離はグリーンセンター表記とする

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	348	131	373	162	142	146	317	260	471	2350
Par	4	3	4	3	3	3	4	4	5	33

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	Total
347	134	353	312	158	150	120	126	340	2040	4390
4	3	4	4	3	3	3	3	4	31	64

注意事項

1. ローカルルール5項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会はすべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. コース内での携帯電話の通話は**緊急時（カートの故障・ケガ等）以外禁止する。※コース内では必ず電源を OFF にすること。** ※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
5. 組合せスタート時間は別紙のとおりとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコース(TEL：072-677-9900)に連絡すること。
6. プレーの進行は、ハーフラウンド2時間以内とすること。先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。(トラブルがあつて遅れた場合はその組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務があります)
7. 正規のラウンド中、ギャラリー等との接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、ペナルティを課すので注意すること。
8. ギャラリー（観戦者）のコース内立入は一切禁止とする。
(コース両サイドのアスファルト道路もコースの一部とみなす)
9. 使用ティーマーカーは 青色（バックティー） とする。
10. 練習は指定練習場にてパッティング、チップショットのみ行うこと。
11. 溝とパンチマークの規格

本競技は 2010 年 1 月 1 日施行の『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』を適用しません。※但し、本競技に付与された JGA 等他団体主催競技のシード権を行使する場合、本項目の条件が適用される場合があります。詳細は主催団体に各自ご確認下さい。

競技委員長 西村 馨